

相武台神社のどんど焼きが大盛況！

一年の新たな出発に際しての伝統行事で、健康や幸福を祈願する「どんど焼き」が、1月11日（土）相武台神社境内にて盛大に行われました。

奉納品「松飾り・しめ縄・お札・書き初めなど」を納める人や参拝者が次々と訪れるなか、同神社氏子「会長 池上 宏」による清めの儀式に続き、干支の子供ら4名による火入れ式が執り行なわれて点火、炎が勢いよく音を立てて燃え上がりましたが、もしもの時に備え消防車に待機していただきました。やがて炎が落ち着いたころ、棒の先に刺された



振舞いコーナーに行列



団子が来場者に配られ、場所とりとともに一斉に熱炉を囲んで棒先を伸ばしてだんご焼きが始まりました。

そうした中、焼きたての団子を引き抜いて袋に入れるのが難しく、近くの氏子委員にお願いする様子をあちこちで見かけました。

また、今年初日から境内に「おみくじ箱」が設置され、当日も運勢を神様に託して縄に結び、手を合わせ願う若者も見かけました。

なお、例年行われるこの行事は、関連団体の協力もあって、団子のほか、熱々の豚汁や甘酒、ポップコーン、子供たちにはミカンが振舞われ、一時は境内の外まで行列が伸び大混乱となりました。



やっと火が燃え尽きるころ、消防団員さんの手で念入りに消火され、どんど焼きが大盛況のうちに終わりました。

健康講座と熟年者演芸カラオケ大会を行いました

相武台地区社会福祉協議会（会長 若松 洋一）では、2月1日（土）相武台老人憩の家において、55歳以上を対象とした「健康講座・演芸カラオケ大会」を開催しました。

●第1部は、（塚田 博幸）講師による、「いろいろ健康体操（脳のトレーニング）」をテーマに、リズムに合わせて全身の各所を伸縮させながら行なうストレッチ体操では、数をかぞえながら合間に腕をブラブラさせてリラックスしながら行いました。更に、指定された数で手をたたくなど、脳トレーニングをかねた体操となりました。ラストは全員が輪になって、腕を「上下・左右・万歳など」を組み合わせた体操となり、さすがに難度が高く脱落する人が大勢いましたが、楽しい健康講座の時間となりました。



●第2部は、熟年者演芸カラオケ大会で、全員で合唱してスタートです。続いては婦人部によるコーラスや自慢のカラオケ、ハーモニカ演奏などのほか、輪になって飛び入りの盆おどりでおお賑わい。また、出演者にはきれいな花鉢が参加賞として贈られ、一時を楽しんでいただきました。

